SONY

2-593-353-**04** (1)

Multiformat Engine Unit

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CE

MEU-WX2

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
6ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス担当者または営業担当にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶ 電源を切ります。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
❸ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示　アース線を接続せよ　プラグをコンセントから抜く

目次

⚠注意　下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

禁止

DC IN 端子に規格以外の入力電圧をかけない

DC IN 端子に規格以外の入力電圧をかけると火災や感電の原因となることがあります。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
取扱説明書に記されている使用条件をお守りください。

水ぬれ禁止

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

注意

密閉環境に設置する際は注意する

本機をラックや棚に収納した際、上下および周辺の機器により機器周辺の通風が妨げられ動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。
本機の動作条件温度 0 ℃から 35 ℃を保つように上下および周辺機器との隙間を充分に取り、通気孔の確保や通気ファンの設置等の配慮をしてください。

指示

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。
他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。
次の方法でアースを接続してください。
プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。
安全アースを取り付けることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

製品の上に乗らない、重いものを載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
真夏の、窓を閉め切った自動車内では50℃を越えることがありますので、ご注意ください。

分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどを開けたり、改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

指示

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

指示

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

使用上のご注意（性能を保持するために）

本機はソニー LCD モニター LMD-152、LMD-172W、LMD-212、LMD-232W または LMD-322W と組み合わせてお使いください。

クリーニングについて

・お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
・キャビネットの汚れがひどいときは、水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤液に柔らかい布をひたし、かたくしぼってから汚れを拭きとります。このあと乾いた布でから拭きしてください。
・シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。

ラックマウントについて

ラックマウント時は、性能維持のため上下に 1 U 空けて、通気孔の確保や通気ファンの設置を行ってください。

ファンエラーについて

本機には冷却用ファンが内蔵されています。「ファンエラー（MEU)」、「ファンエラー（LMD）」という警告が出た場合は、電源を切りお買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

特長

本機は業務用 LCD モニターと組み合わせてお使いいただけます。

画像

動き適応型 I/P コンバーター搭載

ソニーオリジナル画像処理 IC を新開発。2-3 プルダウン処理など最適なフレーム処理と画像処理により、通常の動画やコンピューターグラフィックス、フィルム素材のビデオ信号を、自然できめ細かい映像に変換します。

フルデジタル処理回路

デジタル信号はもちろんのこと、アナログ信号も入力直後にデジタル変換し、すべての信号処理がフルデジタル回路で行われ、劣化のない画像が実現しました。

2 カラー方式

NTSC、PAL の 2 つのカラー方式に対応しており、入力信号に合った方式で画像を再現します。

オートクロマ・フェーズ機能を標準装備

デコーダーのクロマやフェーズを自動調整するオートクロマ・フェーズ機能を標準装備しています。

ブルーオンリーモード

ブルーオンリーモードにすると、R/G/B の画素が 3 個とも青信号で動作し、これが白黒画像として表示されます。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、VTR ノイズの監視に便利です。

入力

アナログ RGB/ コンポーネント入力端子

ビデオ機器のアナログ RGB、コンポーネント信号を入力できます。

Y/C 入力端子

ビデオ機器などの映像信号を、輝度信号（Y）と色信号（C）の 2 つに分離したまま入力できます。

ビデオ信号用オプションスロット構造

別売りの入力アダプターを取り付けることにより、D1-SDI 信号、HD-SDI 信号、DV 信号を入力することができます。

外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力できます。EXT SYNC ボタンを押すと、外部同期で動作します。

自動終端解放（ -W- マークの付いた端子のみ）

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部で 75Ω で終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます（ループスルー）。

アナログコンピューター入力信号対応

スキャンコンバーターを内蔵し、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA 信号を最適な状態で表現することができます。

XGA または WXGA での表示をお勧めします。

機能

APA (Auto Pixel Alignment) 機能

コンピューター信号を入力したとき、APA ボタンを押すだけで最適な画像サイズに調整できます。

色温度／ガンマ切り換え機能

高／低 2 つの色温度とあらかじめ設定された 5 つのガンマを用途やお好みに応じて選択することができます。色温度は好みに応じて設定することもできます。

アスペクト切り換え機能

入力ビデオ信号に応じて 4:3 と 16:9 の画角を切り換えることができます。

豊富なマーカー装備

センターマーカーやセーフエリアマーカーなど種々のフィルムアスペクト比に対応したフレーム領域を表示することができます。

スキャン切り換え機能

ビデオ信号入力時に、0%/5% オーバースキャンの 2 種類の選択に加え、接続したモニターに応じてフルスクリーンとズームの画面サイズが選択できます。

H/V ディレイモード

H/V ディレイモードにすると、水平、垂直同期信号を同時にモニターすることができます。

スクリーンメニュー機能

画面にメニューを出して、接続するシステムに最適なディスプレイの設定や調整をすることができます。

EIA 規格の 19 インチラックに収納可能

付属のマウンティングブラケットを使用すると、EIA19 インチラックにマウントすることができます。

キーロック機能

各種調整キーの誤操作を防ぐため、調整キーをロックできます。

多言語メニュー表示

メニュー画面より、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語、中国語の 7ヶ国語から選んで画面を表示することが可能です。

外部リモート機能

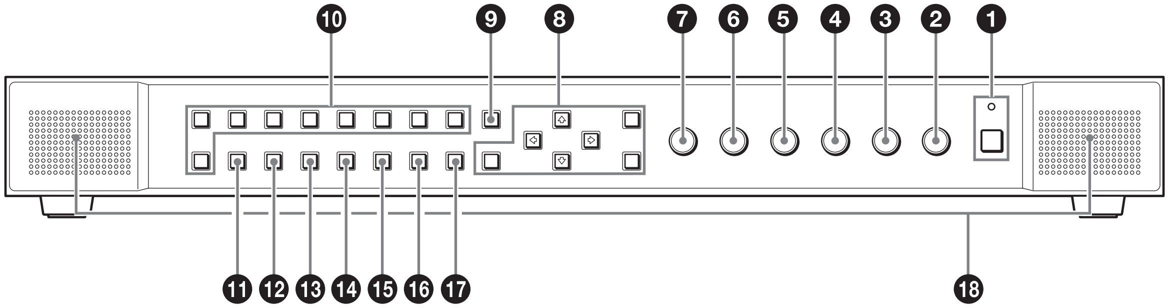
接続した外部機器からの操作で、選択したい入力やアスペクト等を直接選ぶことができます。

色域変換機能

メニューから 4 種類のカラースペース（色域）を選択することができます。

各部の名称と働き

前面パネル



❶ POWER（電源）スイッチとインジケーター
スイッチを押すと電源が入り、インジケーターが点灯します。もう一度押すと、電源が切れます。

❷ VOLUME（音量）調整つまみ
右にまわすと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

❸ CONTRAST（コントラスト）調整つまみ
コントラストを調整します。
右にまわすとコントラストが強くなり、左に回すと弱くなります。

❹ PHASE（色相）調整つまみ
色合いを調整します。
右にまわすと肌色が緑がかり、左に回すと紫がかります。

❺ CHROMA（色の濃さ）調整つまみ
色の濃さを調整します。
右にまわすと色が濃くなり、左に回すと薄くなります。

❻ BRIGHT（明るさ）調整つまみ
明るさを調整します。
右にまわすと画面が明るくなり、左に回すと暗くなります。

❼ APERTURE（アパチャー）調整つまみ
シャープネスを調整します。
右にまわすとくっきりし、左に回すと柔らかになります。

❽ メニュー操作ボタン
メニュー画面の表示や設定をします。

⬆/⬇/⬅/➡（矢印）ボタン
メニューに表示されるカーソルを動かすときや、項目の数値を変えるときに使います。

MENU（メニュー）ボタン
メニューを表示したり非表示にしたりするときに使います。
もう 1 度押すとメニューは消えます。

RESET（リセット）ボタン
調整した項目の調整値を調整前の状態に戻すときに押します。
メニュー画面の項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

ENTER（決定）ボタン
メニューで内容を決定するときに使います。

❾ EXT SYNC（外部同期）ボタン
EXT SYNC IN 端子から入力された外部同期信号で同期をとるときはこのボタンを押します。
EXT SYNC ボタンはコンポーネント /RGB 入力時のみ動作します。

❿ 入力切り換えボタン
接続した端子に従って入力を選ぶとき押します。
A-1、A-2、B-1、B-2 ボタンは別売りの入力アダプターを入力オプションスロットに取り付けたとき使用します。

COMPOSITE ボタン : 映像入力（コンポジット）端子からの信号をモニターするとき

Y/C ボタン : 映像入力（Y/C）端子からの信号をモニターするとき

RGB ボタン : 映像入力（RGB）端子からの信号をモニターするとき

COMPONENT ボタン : 映像入力（コンポーネント）端子からの信号をモニターするとき

A-1 ボタン : 入力オプションスロット A-1 からの信号をモニターするとき

A-2 ボタン : 入力オプションスロット A-2 からの信号をモニターするとき

B-1 ボタン : 入力オプションスロット B-1 からの信号をモニターするとき

B-2 ボタン : 入力オプションスロット B-2 からの信号をモニターするとき

COMPUTER ボタン : COMPUTER SIGNAL IN 端子からの信号をモニターするとき

⓫ APA (Auto Pixel Alignment) ボタン

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。入力信号によって微調整が必要な場合は、「ドットフェーズ」(21 ページ）をご覧ください。
APA 動作中に MENU ボタン、あるいは RESET ボタンを押すと操作を中止することができます。
メニュー画面が表示されているとき APA は機能しません。

⓬ SCAN（スキャン）切り換えボタン

画像のスキャンサイズを変えることができます。
このボタンを押すとノーマルスキャン（5% オーバースキャン)、ゼロスキャン、メニューの「スキャン」(24 ページ）で設定したフルスクリーン、ズーム表示になります。

⓭ ASPECT（アスペクト）切り換えボタン

画面のアスペクト（縦横比)、4:3 または 16:9 を選びます。

ご注意

接続したモニターが 15:9 のときは、16:9 表示をすると上下に黒い帯が出ますが故障ではありません（24 ページ / 25 ページの「スキャン」参照。)

⓮ MARKER（マーカー）ボタン

このボタンを押すと、エリアマーカーが表示されます。
セーフエリアサイズの設定はメニュー画面で行います。

⓯ BLUE ONLY（ブルーオンリー）ボタン

このボタンを押すと、赤と緑の信号がカットされ、青信号のみが白黒画像として表示されます。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、VTR ノイズの監視が容易に行えます。

⓰ MONO（白黒）ボタン

このボタンを押すと、画面が白黒になります。もう一度押すとカラーに戻ります。

⓱ HV DELAY（水平／垂直ディレイ）ボタン

水平、垂直同期信号をモニターしたいときに押します。

⓲ スピーカー

前面の入力切り換えボタンで選んだ入力の音が出ます。
アナログビデオ信号が入力された場合は、ユーザー設定メニューで設定された入力が出力されます（11 ページ、23 ページ参照)。
入力アダプターを取り付けた場合は、オプション設定メニューで設定されたチャンネルが出力されます（26 ページ参照)。
スピーカーで出力されている音声は背面の AUDIO MONITOR OUT 端子から出力されます（11 ページ参照)。

入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号									
	ビデオ、Y/C	白黒信号	コンポーネント		RGB		SDI		DV*6	コンピューター
			SD	HD	SD	HD	D1*4	HD*5		
コントラスト *1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブライト *1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロマ *1	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×
フェーズ *1	○ (NTSC)	×	×	×	×	×	×	×	×	×
APERTURE	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×
色温度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カラースペース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オートクロマフェーズ	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×
ACC	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
CTI	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
垂直シャープネス *2	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×
マトリクス *3	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
コンポーネントレベル	×	×	○ (480/60I)	×	×	×	×	×	×	×
NTSC セットアップレベル	○ (NTSC)	○ (480/60I)	×	×	×	×	×	×	×	×
ガンマ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SCAN	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
ASPECT	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×
MARKER	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
BLUE ONLY	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
MONO	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×
HV DELAY	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
APA	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
サイズ H	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
シフト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドットフェーズ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
パワーセービング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIC ディレイ最小	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×

*1 SUB CONTROL の設定も同様です。

*2 PIC ディレイ最小の設定が「2」のとき、この機能は動作しません。

*3 コンポーネント信号（480/60I または 480/60P）入力で、コンポーネントレベルが SMPTE に設定されているときのみ切り換えできます。

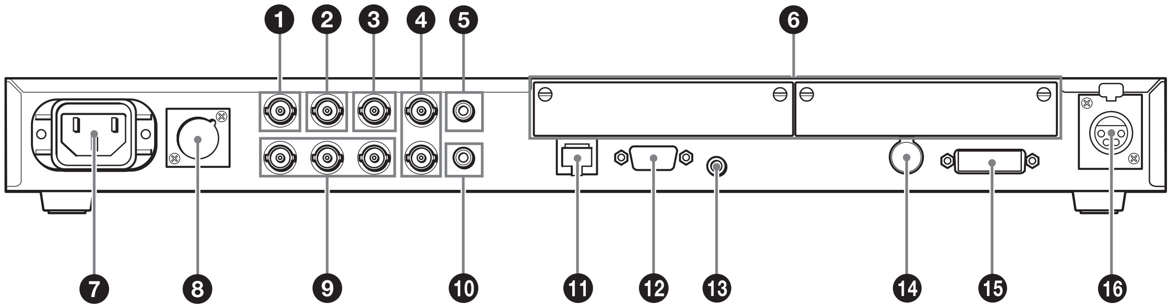
*4 BKM-220D あるいは BKM-243HS が装着されているとき

*5 BKM-243HS が装着されているとき

*6 BKM-255DV が装着されているとき

○：調整・設定できる項目
×：調整・設定できない項目

後面パネル



❶ G/Y/COMPOSITE 端子（BNC 型）*
コンポジット信号、コンポーネント信号の Y（輝度）信号、RGB 信号の G 信号などの入力端子です。

❷ B/PB/S-Y 端子（BNC 型）*
Y/C 信号の Y（輝度）信号、コンポーネント信号の PB（青色差）信号、RGB 信号の B 信号などの入力端子です。

❸ R/PR/S-C 端子（BNC 型）*
Y/C 信号の C（色）信号、コンポーネント信号の PR（赤色差）信号、RGB 信号の R 信号などの入力端子です。

❹ EXT SYNC IN/OUT（外部同期入出力）端子（BNC 型）
外部同期信号を使う場合は前面の EXT SYNC ボタンを押します。

IN 端子
本機を外部同期で動作させるときに外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。

ご注意

本機へジッターなどがあるビデオ信号を入力すると、画像が乱れることがあります。その場合は、TBC（タイムベースコレクター）の使用をお勧めします。

OUT 端子
IN 端子に接続した同期信号のループスルー出力端子です。本機と同期して動作させる他のビデオ機器の外部同期入力端子と接続します。
この端子にケーブルを接続すると、入力の 75Ω 終端が自動的に解放され、IN 端子に入力された信号が、この端子から出力されます。

❺ AUDIO IN（音声入力）端子（ステレオミニジャック）
VTR やオーディオミキサーなどの音声出力端子と接続します。

❻ 入力オプションスロット
別売りの入力アダプターを取り付けることができます。
前面の A-1、A-2、B-1 または B-2 ボタンを押して入力を選択します。

❼ AC IN ソケット
付属の電源コードをつなぎます。

❽ DC 12V IN 端子（XLR 型）
外部電源 DC 12V を接続することにより、本機とモニターを動作させることができます。
動作可能なモニターは以下の通りです。
LMD-152/LMD-172W

❾ ループスルーアウト端子
❶、❷、❸ の各入力端子に入力された信号がそのまま出力されます。入力されている信号を確認して他のビデオ機器のアナログ入力端子（コンポジット /Y/C、アナログコンポーネントまたはアナログ RGB）と接続します。

❿ AUDIO MONITOR OUT（音声モニター出力）端子（ステレオミニジャック）
前面の入力切り換えボタンで選ばれた機器の音声信号が出力されます。
アナログビデオ信号が入力された場合は、ユーザー設定メニューで設定された入力が出力されます（9 ページ、23 ページ参照）。

* コンポジット信号と Y/C 信号は同時に入力できますが、Y/C 信号は BNC 型に変換する必要があります。
コンポーネント信号と RGB 信号はそれぞれ上記の端子を占有するため他のアナログビデオ信号と同時に使うことはできません。また、前面のスピーカーと AUDIO MONITOR OUT 端子に出力する音声信号をユーザー設定メニューで設定変更が必要な場合があります。詳しくは 23 ページをご覧ください。

入力アダプターを取り付けた場合は、オプション設定メニューで設定されたチャンネルが出力されます（26 ページ参照）。
出力される音声は本機の前面スピーカーで確認できます（9 ページ参照）。

⓫ PARALLEL REMOTE（パラレルリモート）端子（モジュラーコネクター）

パラレルコントロールスイッチを構成してマルチフォーマットエンジンを外部操作します。
◆ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割付について詳しくは、29 ページをご覧ください。

⓬ COMPUTER SIGNAL IN（コンピューター入力）端子（HD D-Sub 15 ピン、メス）

コンピューターのモニター出力端子と接続します。この端子はコンピューターの信号のみ入力することができます。
前面の COMPUTER ボタンを押して入力を選択します。
プラグアンドプレイ（Plug & Play）機能は DDC2B に対応しています。

⓭ COMPUTER AUDIO（コンピューター音声）端子（ステレオミニジャック）

コンピューターの音声信号を入力します。

⓮ サービス用端子

サービス用の端子です。

⓯ DISPLAY SIGNAL OUT（ディスプレイ出力）端子

指定のモニターと接続します。LCD モニターに付属のケーブルで LCD モニターと接続します。
指定モニター：LMD-152/LMD-172W/LMD-212/LMD-232W/LMD-322W

⓰ DISPLAY DC OUT（ディスプレイ DC 出力）端子（XLR 型（メス））

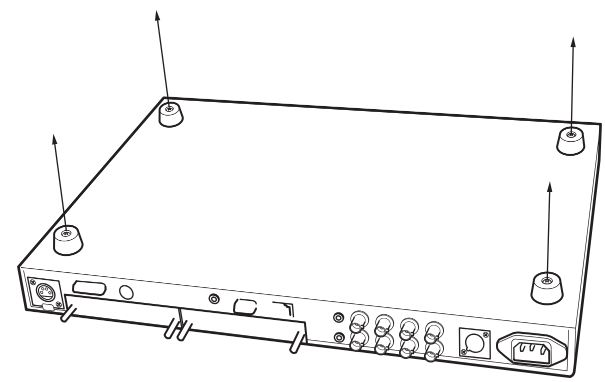
指定のモニターと接続します。LCD モニターに付属のケーブルで LCD モニターと接続します。
指定モニター：LMD-152/LMD-172W/LMD-212/LMD-232W

ご注意

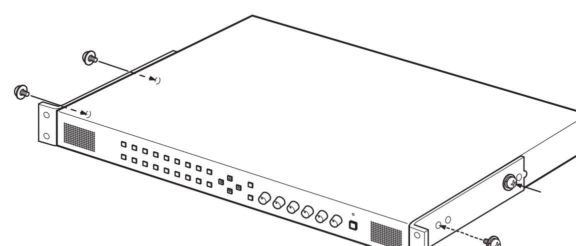
・指定のモニター以外を接続しないでください。
・下記のモニターを接続し DC 電源で駆動する場合、別売りのディスプレイ IF ケーブル SMF-600 は使用できません。
LMD-152/LMD-172W

ラックに取り付けるには

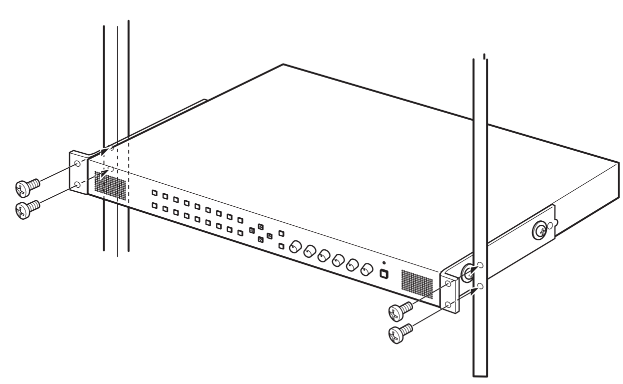
1 底面の脚（4 箇所）を取りはずす。



2 付属のネジでマウンティングブラケットを取り付ける。ブラケットは 2 通りの位置で取り付けることができます。



3 ラックに取り付ける

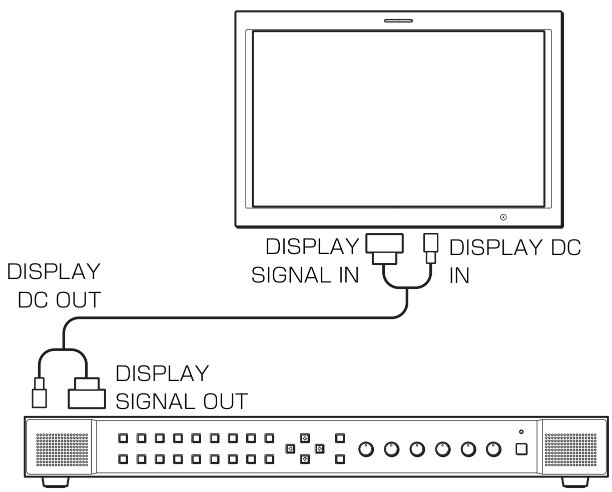


車載用途に付属のマウンティングブラケットを使用する場合は、設置環境に応じて振動や衝撃に耐えられる補強を行ってください。

接続

モニターと接続するには

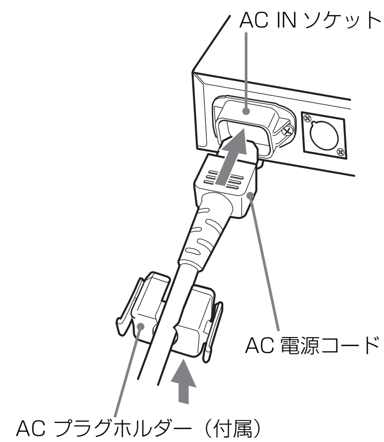
ケーブルを接続する前に必ず電源を切ってください。本機の DISPLAY SIGNAL OUT 端子とモニターの DISPLAY SIGNAL IN 端子、本機の DISPLY DC OUT 端子とモニターの DISPLAY DC IN 端子をモニターに付属のケーブルで接続します。
（LMD-322W は DISPLAY SIGNAL 端子のみ接続してください。）



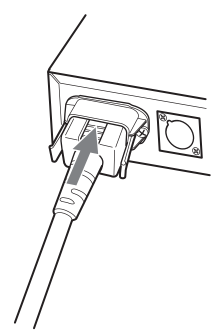
電源をつなぐには

次のように電源コードを接続してください。

1 AC 電源コードを後面の AC IN ソケットに差し込み、AC 電源プラグホルダーを AC 電源コードに取り付ける。



2 固定レバーがロックするまで、AC 電源プラグホルダーをはめこむ。



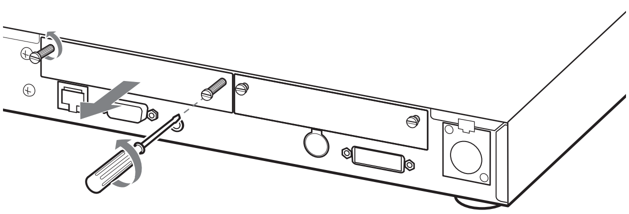
電源コードをはずすには

AC 電源プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。

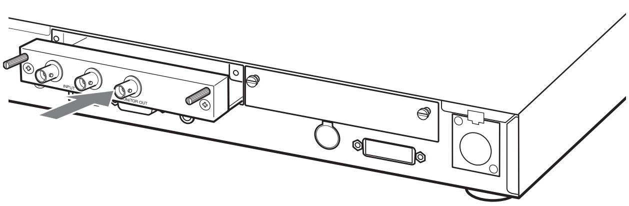
入力アダプターの取り付け

入力アダプターを取り付ける前に必ず電源ケーブルを抜いてください。
入力アダプターは入力オプションスロットのパネルをはずしてから取り付けます。

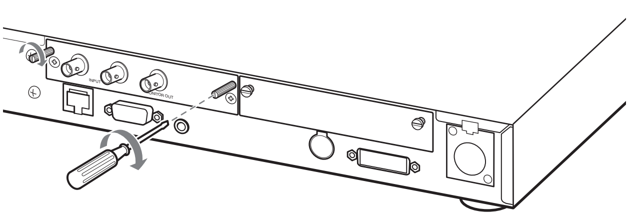
1 入力オプションスロットのパネルをはずす。



2 入力アダプターを入力オプションスロットに差し込む。



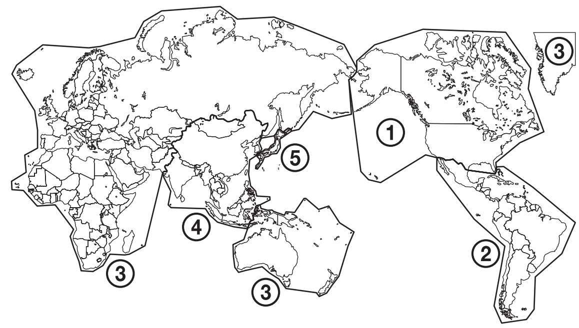
3 ネジで止める。



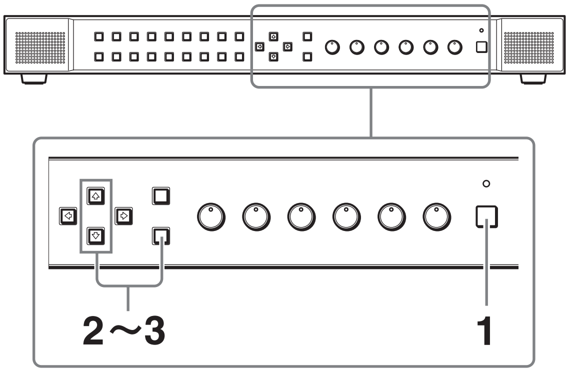
基本設定の選択

はじめてお使いになるときはお使いになる地域の選択を行ってください。
地域を選択すると、メニュー内の各項目がお使いの地域に合った値に設定されます。

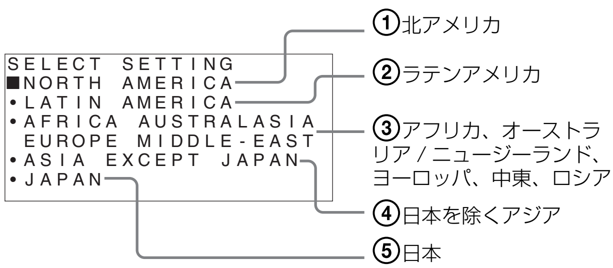
地域別基本設定値



		色温度	コンポーネントレベル	NTSCセットアップ	カラースペース
①**NORTH AMERICA**		Low	BETA7.5	7.5	2
②**LATIN AMERICA** PAL&PAL-N AREA	ARGENTINA	Low	SMPTE	0	1
	PARAGUAY	Low	SMPTE	0	1
	URUGUAY	Low	SMPTE	0	1
NTSC&PAL-M AREA	OTHER AREA	Low	BETA7.5	7.5	2
③**AFRICA AUSTRALASIA EUROPE MIDDLE-EAST**		Low	SMPTE	0	1
④**ASIA EXCEPT JAPAN**	NTSC AREA	Low	BETA7.5	7.5	2
	PAL AREA	Low	SMPTE	0	1
⑤**JAPAN**		High	SMPTE	0	1

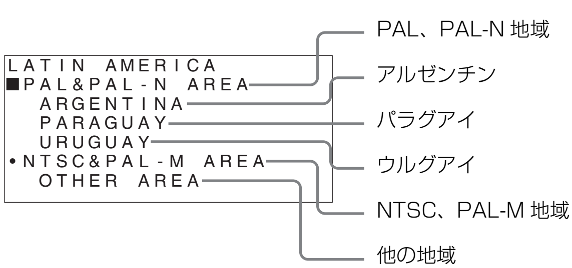


1 POWER スイッチを押す。
本機の電源が入り、SELECT SETTING 画面が表示されます。



2 ⬆ または ⬇ ボタンを押して、本機をお使いになる地域を選び、➡ または ENTER ボタンを押す。
LATIN AMERICA（ラテンアメリカ）、ASIA EXCEPT JAPAN（日本以外のアジア）が選ばれたときは次の画面が表示されます。

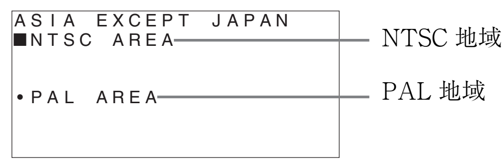
② LATIN AMERICA が選ばれたとき：



④ ASIA EXCEPT JAPAN が選ばれたとき：
下の地図でグレーに色付けされた地域でお使いの場合は、NTSC AREA を選んでください。
他の地域でお使いの場合は、PAL AREA を選んでください。



日本でお使いの場合は操作 ***1*** で JAPAN を選んでください。



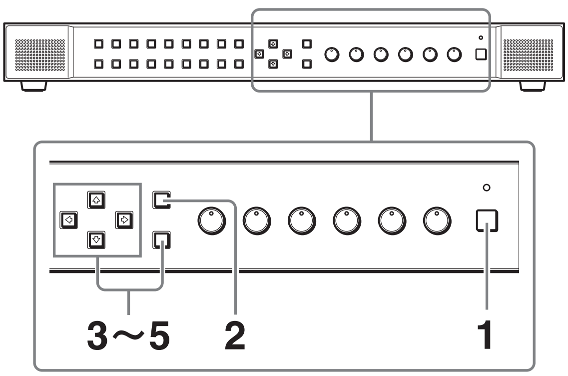
3 ⬆ または ⬇ ボタンを押してさらに地域を限定し、➡ または ENTER ボタンを押す。
SELECT SETTING 画面が消えて、自動的にメニュー内の各項目が、選択した地域に合った値に設定されます。

ご注意

地域を間違えて設定した場合は、メニューを使い以下の項目を変更してください。
・色温度（19 ページ）
・コンポーネントレベル（23 ページ）
・NTSC セットアップ（23 ページ）
・カラースペース（19 ページ）
設定値については「地域別基本設定値」（14 ページ）をご覧ください。

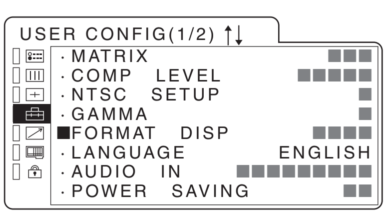
メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を7言語（ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、日本語、中文）の中から選ぶことができます。
地域設定でJAPANを選んだ場合はメニュー表示言語は自動的に「日本語」に設定されますが、それ以外の地域を選んだ場合は、「ENGLISH」（英語）に設定されます。
メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に現在の設定値が表示されます。

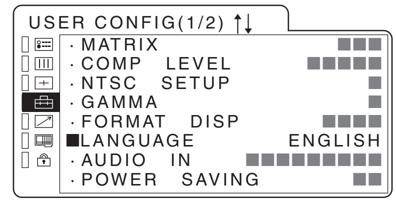


1 POWERスイッチを押して、電源を入れる。

2 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。

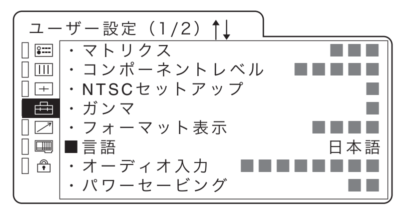


3 ↑ボタンまたは↓ボタンを押してUSER CONFIG 1/2（ユーザー設定1/2）メニューを選び、→またはENTERボタンを押す。
選んだメニューの設定項目（アイコン）が黄色で表示されます。



4 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、→またはENTERボタンを押す。
選んだ項目が黄色で表示されます。

5 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して表示させたい言語を選び、ENTERボタンを押す。
画面表示が選んだ言語に切り換わります。



メニュー画面を消すには

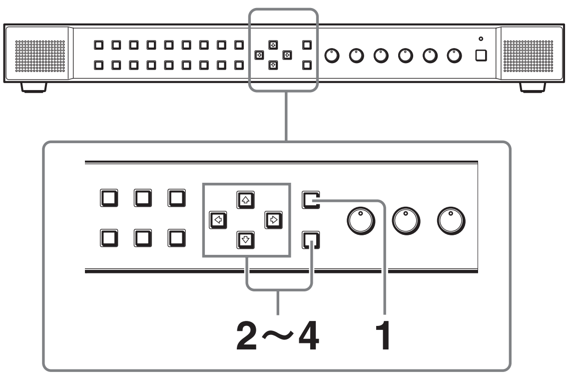
MENUボタンを押す。
約1分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

メニューの操作方法

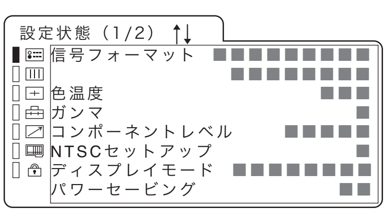
本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

◆表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」（16 ページ）をご覧ください。

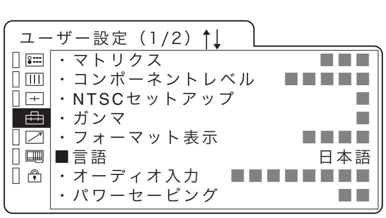
メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に現在の設定値が表示されます。



1 MENU ボタンを押す。
メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



2 ⬆ ボタンまたは ⬇ ボタンを押してメニューを選び、➡ または ENTER ボタンを押す。
選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



3 項目を選ぶ。
⬆ ボタンまたは ⬇ ボタンを押して設定項目を選び、➡ または ENTER ボタンを押す。
変更する項目が黄色で表示されます。

ご注意

項目が複数メニューページにおよぶ場合、⬆ ボタンまたは ⬇ ボタンを押して必要なメニューページに入ります。

4 設定項目の調整や設定をする。
数値を変更する項目の場合：
数値を大きくするときは、⬆ または ➡ ボタンを押す。
数値を小さくするときは、⬇ または ⬅ ボタンを押す。
ENTER ボタンを押すと確定され、元の画面に戻ります。
設定を選ぶ場合：
⬆ ボタンまたは ⬇ ボタンを押して設定を選び、ENTER ボタンを押す。

ご注意

・設定項目で青色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示にかわるとアクセスが可能になります。
・キーロックがオンに設定されている場合、すべて設定項目が青色表示になります。設定変更が必要な場合は、キーロックをオフに設定しなおしてから行ってください。

◆キーロックについて詳しくは、26 ページをご覧ください。

メニュー画面を消す

MENU ボタンを押す。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

設定値をリセットする

メニュー内の項目を調整中に RESET ボタンを押すと調整前の値に戻ります。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。

設定状態（表示のみ）

COMPUTER 入力以外を選択したとき

信号フォーマット
色温度
ガンマ
コンポーネントレベル
NTSC セットアップ
ディスプレイモード
パワーセービング
ディスプレイ
マルチフォーマットエンジン
オプション A
オプション B

COMPUTER 入力を選択したとき

メモリー NO
解像度
水平周波数
垂直周波数
色温度
ガンマ
パワーセービング
ディスプレイ
マルチフォーマットエンジン
オプション A
オプション B

ホワイトバランス / カラースペース

色温度
マニュアル調整
カラースペース

ユーザーコントロール

COMPUTER 入力以外を選択したとき

オートクロマ／フェーズ
サブコントロール
ピクチャーコントロール
入力設定

COMPUTER 入力を選択したとき

サブコントロール
入力設定

ユーザー設定

マトリクス
コンポーネントレベル
NTSC セットアップ
ガンマ
フォーマット表示
言語
オーディオ入力
パワーセービング
マーカー
センターマーカー
セーフエリア
マーカーレベル
マーカーマット
PIC ディレイ最小
スキャン

リモートパラレル

1 ピン
2 ピン
3 ピン
4 ピン
6 ピン
7 ピン
8 ピン

オプション設定

オプション A
オプション B

キーロック

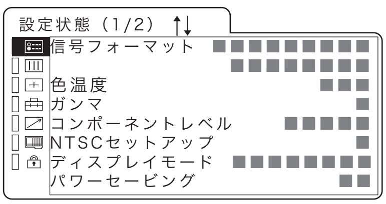
キーロック

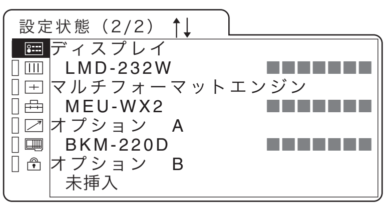
調整と設定

設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

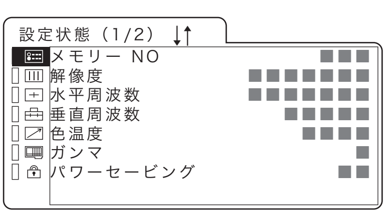
COMPUTER 入力以外を選択したとき

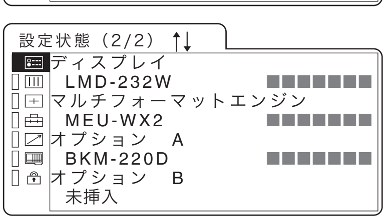




- 信号フォーマット
- 色温度
- ガンマ
- コンポーネントレベル
- NTSC セットアップ
- ディスプレイモード
- パワーセービング
- ディスプレイ
- マルチフォーマットエンジン
- オプション A
- オプション B

COMPUTER 入力を選択したとき

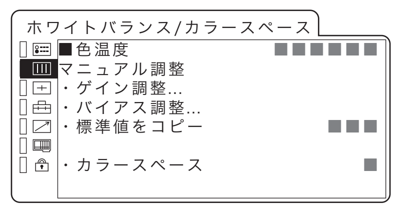




- メモリー NO
- 解像度
- 水平周波数
- 垂直周波数
- 色温度
- ガンマ
- パワーセービング
- ディスプレイ
- マルチフォーマットエンジン
- オプション A
- オプション B

ホワイトバランス / カラースペースメニュー

画質のホワイトバランス / カラースペースを調整するメニューです。
ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。
推奨品：コニカミノルタ社製カラーアナライザー CA-210

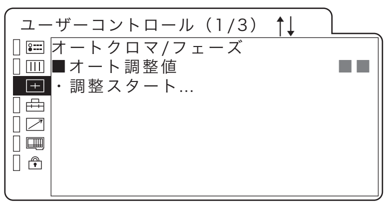


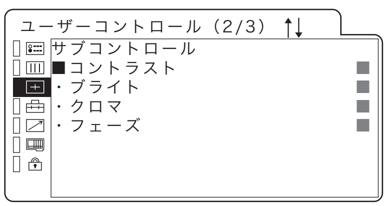
サブメニュー	設定
色温度	色温度を「高」、「低」、「ユーザー設定」から設定します。
マニュアル調整	色温度を「ユーザー設定」にしたとき、表示が青色から白色にかわり、調整できるようになります。 調整値はディスプレイにメモリーされます。ディスプレイを交換したときは色温度を再度調整してください。 ・**ゲイン調整 ...**：カラーバランス（ゲイン）を調整します。 ・**バイアス調整 ...**：カラーバランス（バイアス）を調整します。 ・**標準値をコピー**：「高」または「低」を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、「ユーザー設定」にコピーされます。
カラースペース	色域を「1」、「2」、「3」、「OFF」から設定します。 ・**1**：EBU に近い色再現 ・**2**：SMPTE-C に近い色再現 ・**3**：ITU-709 に近い色再現 ・**OFF**：液晶パネル本来の色再現

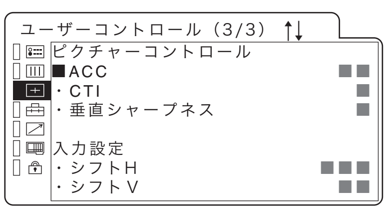
ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。
入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。

COMPUTER 入力以外を選択したとき



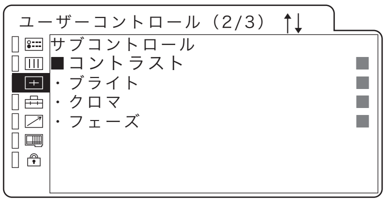


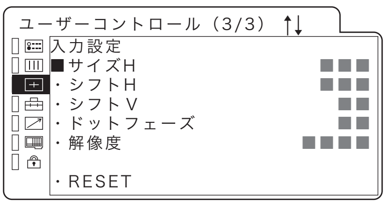


サブメニュー	設定
オートクロマ／フェーズ	色の濃さ（クロマ）と色あい（フェーズ）を調整します。 ・**オート調整値**：自動調整値のオン、オフの切り換えを設定します。「オフ」に設定するとクロマとフェーズの値が工場出荷値となり、「オン」に設定すると自動調整値になります。 ・**調整スタート**：カラーバー信号（フル／SMPTE/EIA）を画面に出して、ENTER ボタンを押すと、自動的にオート調整画面が始まります。調整終了後、MENU ボタンを押して戻ります。調整が正常終了した場合、「オート調整値」は自動的に「オン」になります。 自動調整中に MENU ボタンまたは RESET ボタンを押すと自動調整を中止することができます。
サブコントロール	前面の CONTRAST、BRIGHT、CHROMA、PHASE 調整つまみの調整範囲を微調整します。 ・**コントラスト**：コントラストを調整します。 ・**ブライト**：明るさを調整します。 ・**クロマ**：色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。 ・**フェーズ**：色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。 入力信号と調整・設定項目については、10 ページをご覧ください。
ピクチャーコントロール	画像を調整します。 ・**ACC（オートカラーコントロール）**：オートカラーコントロール回路のオン、オフの切り換えを設定します。より正確なクロマレベルを確認したいとき「オフ」にします。通常は「オン」にしておきます。 ・**CTI（クロマトランジェントインプルーブメント）**：色の解像度の低い信号を入力時、くっきりした画像を出すことができます。 設定値が大きくなるとくっきりします。 ・**垂直シャープネス**：垂直方向にシャープネスを付加してくっきりした画像を出すことができます。 設定値が大きくなるとくっきりします。
入力設定	・**シフト H**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 ・**シフト V**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。

COMPUTER 入力を選択したとき

＊ 1/3 画面の項目は調整できません。





サブメニュー	設定
サブコントロール	前面の CONTRAST、BRIGHT 調整つまみの調整範囲を微調整します。 ・ **コントラスト**：コントラストを調整します。 ・ **ブライト**：明るさを調整します。前面パネルの BRIGHT 調整つまみ（8 ページ）が中央位置にあるときに黒レベルが合っていない場合に調整します。 入力信号と調整・設定項目については、10 ページをご覧ください。
入力設定	画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせます。 ・ **サイズ H**：画像の水平方向の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。 ・ **シフト H**：画像の位置を調整します。 設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 ・ **シフト V**：画像の位置を調整します。 設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。 ・ **ドットフェーズ**：位相を調整します。 APA ボタンを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。 ・ **解像度**：コンピューター入力時、入力信号が XGA/60 や WXGA/60 等信号を判別するのが難しいときに、設定します。 ・**XGA**：XGA として表示します。 ・**WXGA**：WXGA として表示します。 ・**標準**：接続されるモニターのアスペクトに合わせて表示します。 モニターが 4:3 のとき、XGA で表示します。 モニターが 15:9 のとき、WXGA で表示します。 ・ **RESET**：入力信号のサイズ H、シフト H、シフト V、ドットフェーズが出荷設定値に戻ります。

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、コンピューター入力端子に入力された信号について19種類の映像データをあらかじめプリセットしています。(プリセットメモリー)。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。ユーザーコントロールメニュー画面には、入力信号のメモリーナンバーが表示されます。プリセットされたデータをユーザーコントロールメニューで調整することもできます（21ページ参照)。
本機は下記のプリセット信号に対応します。

ご注意

同期信号（水平/垂直）の極性は「プリセット信号一覧」と合わせてください。異なる極性で入力すると正しく表示されない場合があります。

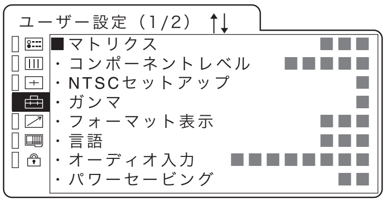
プリセット信号一覧

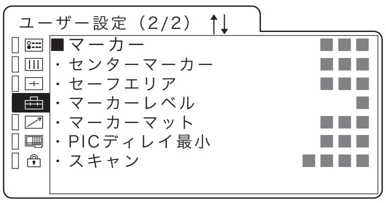
プリセット番号表示	プリセット信号		fH [kHz]	fV [Hz]	ドットクロック [MHz]	同期極性	
						水平	垂直
P01	640 × 480	VGA モード3	31.469	59.940	25.175	負	負
P02		VGA VESA 75Hz	37.500	75.000	31.500	負	負
P03		VGA VESA 85Hz	43.269	85.008	36.000	負	負
P04		VGA (non-CRT)	29.531	59.780	23.625	正	負
P05	800 × 600	SVGA VESA 60Hz	37.879	60.317	40.000	正	正
P06		SVGA VESA 75Hz	46.875	75.000	49.500	正	正
P07		SVGA VESA 85Hz	53.674	85.061	56.250	正	正
P08		SVGA (non-CRT)	36.979	59.837	35.500	正	負
P09	1024 × 768	XGA VESA 60Hz	48.363	60.004	65.000	負	負
P10		XGA VESA 75Hz	60.023	75.029	78.750	正	正
P11		XGA VESA 85Hz	68.677	84.997	94.500	正	正
P12	1280 × 768	WXGA*2 (CRT 60Hz)	47.693	59.992	80.125	負	正
P13		WXGA*2 (non-CRT)	47.396	59.995	68.250	正	負
P14	1280 × 1024	SXGA*1 VESA 60Hz	63.981	60.020	108.000	正	正
P15		SXGA*1 (non-CRT)	63.194	59.957	91.000	正	負
P16	720 × 400	VGA TEXT	31.469	70.087	28.322	負	正
P17	1024 × 768	XGA (non-CRT)	47.297	59.870	56.000	正	負
P18	1280 × 768	WXGA*2 (CRT 75Hz)	60.091	74.926	102.875	負	正
P19*3	1280 × 800	WXGA (AWS-G500)*4	48.935	59.969	68.900	負	負

・ VGAとSVGA、XGA、SXGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
*1 SXGAはダウンコンバート表示です。
*2 LMD-152/LMD212接続時 : WXGAもダウンコンバート表示です。
*3 プリセット番号表示「P19」は、本機シリアルNo. 2002031以降から対応しています。
*4 ソニー製Anycast Station ライブコンテンツプロデューサー AWS-G500の「RGB (GUI)」端子から出力される信号に対応しています。ダウンコンバート表示です。

ユーザー設定メニュー

言語の選択などを設定します。



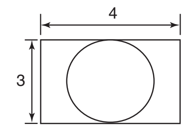
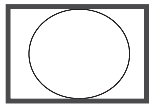
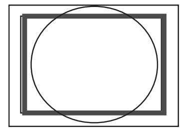
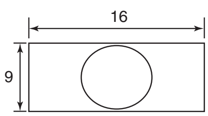
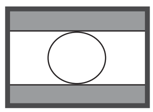
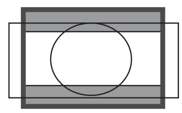
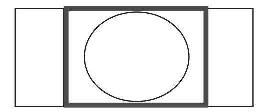
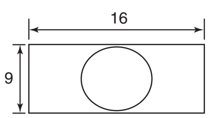
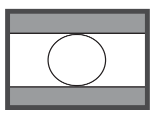
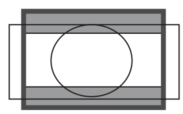
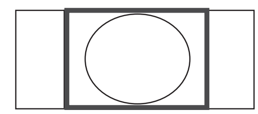


サブメニュー	設定
マトリクス	480/60I、480/60P 信号にのみに働きます。601 または 709 を選択します。
コンポーネントレベル	以下の 3 種類のなかから、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 ・**SMPTE**：100/0/100/0 のコンポーネント信号のとき ・**BETA 0**：100/0/75/0 のコンポーネント信号のとき ・**BETA 7.5**：100/7.5/75/7.5 のコンポーネント信号のとき
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本は 0 で、アメリカでは 7.5 で運用されています。このため輸入ソフトには 7.5 のものがあります。
ガンマ	画像に合わせて最適な状態を選びます。5 段階の中から選ぶことができます。設定値が 3 のとき、CRT とほぼ同じガンマ（2.2）となります。
フォーマット表示	フォーマット表示とスキャンモードが表示されます。 ・**オン**：フォーマットは常に表示されます。スキャンモードは約 3 秒間だけ表示されます。 ・**オフ**：表示されません。 ・**オート**：信号入力開始後フォーマットは約 10 秒間、スキャンモードは約 3 秒間だけ表示されます。
言語	メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の 7 言語から選択できます。 ・**ENGLISH**：英語 ・**DEUTSCH**：ドイツ語 ・**FRANÇAIS**：フランス語 ・**ITALIANO**：イタリア語 ・**ESPAÑOL**：スペイン語 ・**日本語**：日本語 ・**中文**：中国語
オーディオ入力	入力するオーディオ信号を選択します。 ・**オール :** アナログ入力を選択すると常に音声が出ます。 ・**コンポジット :** COMPOSITE ボタンを押すとこの音声が出ます。 ・**Y/C :** Y/C ボタンを押すとこの音声が出ます。 ・**RGB/ コンポーネント :** RGB ボタンまたは COMPONENT ボタンを押すとこの音声が出ます。
パワーセービング	節電モードのオン、オフの切り換えを設定します。「オン」に設定すると、本体に信号が入力されない状態が約 1 分以上続くと節電モードになります。

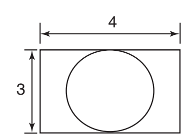
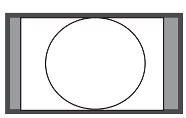
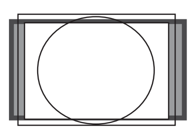
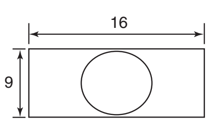
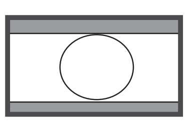
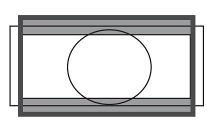
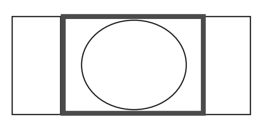
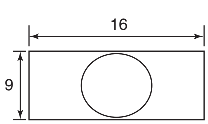
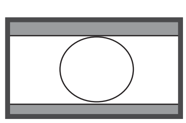
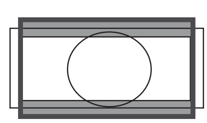
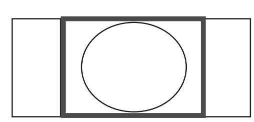
サブメニュー	設定
マーカー	フィルムのフレーム枠を画面に表示させるとき、フィルムに合わせてアスペクト比を選択できます。 ・**ASPECT ボタンで 16:9 が選ばれているとき** 4:3、15:9、14:9、13:9、1.85:1、2.35:1、1.85:1 & 4:3、オフから選択します。 ・**ASPECT ボタンで 4:3 が選ばれているとき** 16:9、オフから選択します。
センターマーカー	画像のセンターを表すマーカーを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
セーフエリア	ASPECT ボタンで設定したアスペクト比に対するセーフエリアサイズを選択できます。OFF、80%、85%、88%、90%、93% から選択します。
マーカーレベル	「マーカー」と「セーフエリア」表示の輝度を設定します。 設定値が小さくなると暗くなります。
マーカーマット	マーカー表示の外側の部分の画像にマットをかけるかどうかを設定します。 ・**オフ**：マットの設定をしません。 ・**ハーフ**：画像が暗くなるマットをかけます。 ・**ブラック**：黒いマットをかけます。
PIC ディレイ最小（映像遅延最小）	NTSC、PAL、480/60I、575/50I の信号を入力したとき、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいとき設定します。 ・**オフ**：画質優先のモードです。処理時間は「1」または「2」に設定したときより長くなります。 ・**1**：処理時間が短くなります。動画に適しています。XDCAM のプロキシ映像など、片フィールド信号しかない映像でもなめらかに表示します。 ・**2**：処理時間が短くなります。ラインフリッカーが見えるので、テロップ制作などのラインフリッカーチェック用途にもご使用いただけます。「2」に設定すると垂直シャープネス（20 ページ）が機能しません。

サブメニュー	設定
スキャン	SCAN ボタンで選択できるスキャンモードをゼロスキャン、オーバースキャンの他にフルスクリーン、ズームを選択可能にします。「オフ」、「フルスクリーン」、[ズーム」、「フルスクリーン＆ズーム」から選択します。表示内容は接続したモニターと選択したモードによって変わります。（「4:3 モニターの場合」、「15:9 モニターの場合」（25 ページ）参照。） **ご注意** 1035/60I の信号を入力したとき、映像のフォーマットは 1080/60I と表示されます。16:9 の画角内に 1035/1080 の比率で実際の映像が表示されるため、映像が縦にややつぶれて表示されます。この場合、「シフト V」（20 ページ）で画面位置をセンターにすることができます。

4:3 モニターの場合

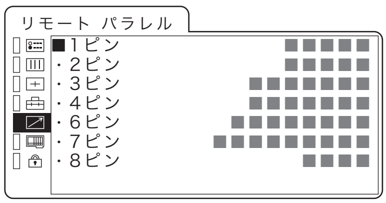
入力信号	出力信号			
	ゼロスキャン	ノーマルスキャン（5% オーバースキャン）	フルスクリーン	ズーム
				
 SD 信号				
 HD 信号				

15:9 モニターの場合

入力信号	出力信号			
	ゼロスキャン	ノーマルスキャン（5% オーバースキャン）	フルスクリーン	ズーム
				
 SD 信号				
 HD 信号				

リモートパラレルメニュー

REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。1 〜 4、6 〜 8 ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。



リモートパラレル

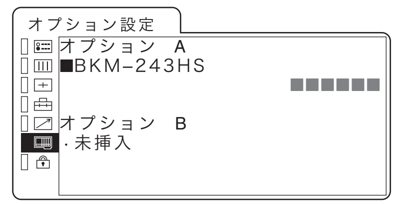
- - -（「- -」は機能の割付なし。）
- コンポジット
- Y/C
- RGB
- コンポーネント
- コンピューター
- オプション A-1
- オプション A-2
- オプション B-1
- オプション B-2
- タリー赤
- タリー緑
- ゼロスキャン
- フルスクリーン
- ズーム
- 16：9
- 4：3
- 外部同期
- ブルーオンリー
- MONO
- H/V ディレイ
- 16：9 マーカー
- 15：9 マーカー
- 14：9 マーカー
- 13：9 マーカー
- 4：3 マーカー
- 1.85：1 マーカー
- 2.35：1 マーカー
- 1.85:1 & 4:3 マーカー
- センターマーカー
- セーフエリア 80%
- セーフエリア 85%
- セーフエリア 88%
- セーフエリア 90%
- セーフエリア 93%
- マーカーマット ハーフ
- マーカーマット ブラック

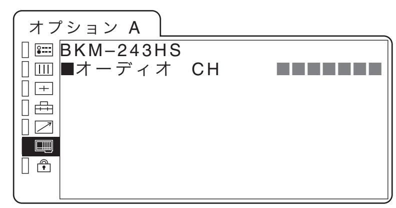
ご注意

パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。詳しくは 29 ページをご覧ください。

オプション設定メニュー

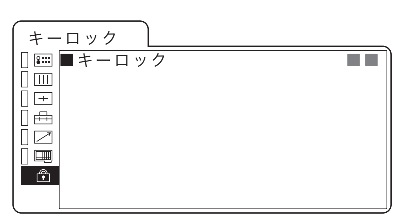
入力アダプターごとに設定をします。





サブメニュー	設定
オーディオ	音声チャンネルを設定します。 **BKM-220D/243HS 装着時** CH1、CH2、CH1+CH2、CH3、CH4、CH3+CH4、CH5、CH6、CH5+CH6、CH7、CH8、CH7+CH8、CH9、CH10、CH9+CH10、CH11、CH12、CH11+CH12、CH13、CH14、CH13+CH14、CH15、CH16、CH15+CH16、オフから選択できます。 **BKM-255DV 装着時** CH1、CH2、CH1+CH2、CH3、CH4、CH3+CH4、CH1/3、CH2/4、CH1/3+CH2/4、オフから選択できます。

キーロックメニュー



各種設定項目の変更が効かないように、キーロックを掛けることができます。
オフあるいはオンを選択します。
「オン」に設定した場合、他のメニューの設定項目はすべて青色表示となり、変更できなくなります。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- **画面が緑色や紫色になる** ⟶ RGB ボタンまたは COMPONENT ボタンを押して、正しい入力を選んでください。
- **操作ボタンを押しても操作できない** ⟶ キーロックが働いています。キーロックメニューでキーロックの設定をオフに切り換えてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付保証書の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系

オーバースキャン[1]0%/5%

入出力

入力

映像入力端子 BNC 型（3）
RGB 入力　0.7 Vp-p ± 3dB（Sync On Green 0.3 Vp-p 負同期）
コンポーネント入力
0.7 Vp-p ± 3dB（75% クロミナンス標準カラーバー信号時）
コンポジット入力
1Vp-p ± 3dB 負同期
Y/C 入力　Y: 1Vp-p ± 3dB 負同期
C: 0.286Vp-p ± 3dB（NTSC バースト信号レベル）
0.3Vp-p ± 3dB（PAL バースト信号レベル）
音声入力端子　ステレオミニジャック（1）
－ 5 dBu[2] 47 kΩ 以上
外部同期入力端子　BNC 型（1）0.3 ～ 4 Vp-p 正負両極性 3 値または負極性 2 値
リモート入力
パラレルリモート
モジュラーコネクター 8 ピン（1）
コンピューター端子
HD D-sub 15 ピン× 1
R/G/B：0.7Vp-p、75Ω、正極性（G チャンネルに負の同期信号がある場合は内部同期で使用可。0.3Vp-p）
同期：TTL レベル、2.2kΩ、極性自由（水平 / 垂直分離及び複合同期信号）
信号フォーマット
水平：29 ～ 69kHz
垂直：60 ～ 85Hz
プラグアンドプレイ機能：DDC2B 対応
コンピューター音声入力端子
ステレオミニジャック（1）
－ 5 dBu、47 kΩ 以上
入力オプションスロット
2 スロット
信号フォーマット
水平：15 ～ 45kHz
垂直：48 ～ 60Hz
DC IN 端子　DC12V（出力インピーダンス 0.05Ω 以下）

出力

映像出力端子　BNC 型（3）ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
音声モニター出力端子
ステレオミニジャック（1）
外部同期出力端子
BNC 型（1）ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
DISPLAY SIGNAL 出力端子
専用
DISPLAY DC OUT 出力端子
DC16.5V（AC 電源時）
DC12V（DC 電源時）（対応機種：11 ページの ❽ 参照）
内蔵スピーカー出力
0.5 W 以上＋ 0.5 W 以上（ステレオ）

その他

電源　DC12V、5.1 A（LMD-152/LMD-172W）
AC100 ～ 240 V、50/60 Hz、1.5 A ～ 0.6 A
消費電力　最大約 115 W（LMD-212 および BKM-255DV × 2 接続時）
最大外形寸法（幅／高さ／奥行き）
約 434 × 44 × 305 mm（最大突起部含まず）
質量　約 4.5 kg
動作条件
温度　0 ～ 35 ℃
推奨使用温度　20 ～ 30 ℃
湿度　30 ～ 85% 以下 (結露のないこと)
気圧　700 ～ 1060 hPa
保存・輸送条件
温度　－ 10 ～ 40 ℃
湿度　0 ～ 90%
気圧　700 ～ 1060 hPa

1）コンピューター信号を入力したときは 0% スキャンとなり 5% オーバースキャン、フルスクリーン、ズームはできません。
2）0 dBu = 0.775 Vr.m.s

付属品　AC 電源コード (1)
AC プラグホルダー (1)
マウンティングブラケット (2)
ネジ（4）
取扱説明書 (1)
CD-ROM (1)
CD-ROM マニュアルの使いかた (1)
保証冊子 (1)

別売りアクセサリー
SDI 4:2:2 入力アダプター
BKM-220D
HD/D1-SDI 入力アダプター
BKM-243HS
DV 入力アダプター
BKM-255DV
ディスプレイ IF ケーブル（10 m）
SMF-600

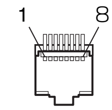
本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ピン配列

PARALLEL REMOTE 端子
モジュラーコネクター
(8 ピン)



ピン番号	機能
1	入力信号 COMPOSITE を指定
2	入力信号 COMPUTER を指定
3	タリーランプ赤の ON/OFF
4	タリーランプ緑の ON/OFF
5	GND
6	外部同期の選択
7	ゼロスキャンの選択
8	アスペクト比 16 : 9 の選択

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます（26 ページ）。タリーランプを搭載していないモニター (LMD-322W) ではタリーランプに機能を割り付けても動作しません。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使用したい機能をアース（5 ピン）に接続します。

信号方式

本機は下記信号方式に対応しています。

			入　力			
システム	総走査線数	有効走査線数	フレームレート *3	走査方式	アスペクト比	信号規格
575/50I(PAL)	625	575	25	2:1 インターレース	16:9/4:3	EBU N10 (PAL: ITU-R BT.624)
480/60I(NTSC)	525	483	30	2:1 インターレース	16:9/4:3	SMPTE 253M (NTSC: SMPTE 170M)
576/50P	625	576	50	プログレッシブ	16:9/4:3	ITU-R BT.1358
480/60P	525	483	60	プログレッシブ	16:9/4:3	SMPTE 293M
1080/24PsF *1	1125	1080	24	2:1 インターレース	16:9	SMPTE RP211
1080/50I	1125	1080	25	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 274M
1035/60I *2	1125	1035	30	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 260M/BTA S-001B
1080/60I	1125	1080	30	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 274M/BTA S-001B
720/60P	750	720	60	プログレッシブ	16:9	SMPTE 296M
720/50P *4	750	720	50	プログレッシブ	16:9	SMPTE 296M

	出　力		
システム	有効表示画素	フレームレート	走査方式
575/50I(PAL)	1280 × 720/1024 × 768	50	プログレッシブ
480/60I(NTSC)	1280 × 720/1024 × 768	60	プログレッシブ
576/50P	1280 × 720/1024 × 768	50	プログレッシブ
480/60P	1280 × 720/1024 × 768	60	プログレッシブ
1080/24PsF *1	1280 × 720	48	プログレッシブ
1080/50I	1280 × 720	50	プログレッシブ
1035/60I *2	1280 × 720	60	プログレッシブ
1080/60I	1280 × 720	60	プログレッシブ
720/60P	1280 × 720	60	プログレッシブ
720/50P *4	1280 × 720	50	プログレッシブ

*1 画面上のフォーマット表示は 1080/48I と表示されます。

*2 画面上のフォーマット表示は 1080/60I と表示されます。
16:9 の画角内に 1035/1080 の比率で実際の映像が表示されるため、縦上部がやや潰れ下方向にずれて表示されます。
「シフト V」（20 ページ）で画面位置をセンターに合わせてください。

*3 フレームレート 1/1.001 にも対応します。

*4 信号方式 720/50P は、本機のシリアル番号 No. 2000805 以降のものに対応しています。

別売りの入力アダプターを装着したとき下記信号方式に対応します。

BKM-220D/243HS 装着時

入　力			
システム	信号規格	BKM-220D	BKM-243HS
575/50I	ITU-R BT.656	○	○
480/60I	SMPTE 259M	○	○
1080/24PsF *1	SMPTE 292M	×	○
1080/50I	SMPTE 292M	×	○
1035/60I *2	SMPTE 292M	×	○
1080/60I	SMPTE 292M	×	○
720/60P	SMPTE 292M	×	○
720/50P *3	SMPTE 292M	×	○

下記のモニターをお使いのお客さまへ

LMD-152/LMD-172W/LMD-212/LMD-232W/LMD-322W

別売りの入力アダプター BKM-243HS/BKM-220D はシリアル番号 No.2100001 以降のものが本機にお使いいただけます。

BKM-255DV 装着時

入　力		
システム	信号規格	BKM-255DV
575/50I	IEEE 1394-1995	○
480/60I	IEEE 1394-1995	○

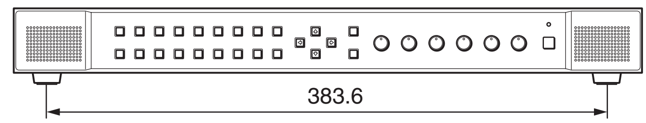
*1 画面上のフォーマット表示は 1080/48I と表示されます。

*2 画面上のフォーマット表示は 1080/60I と表示されます。16:9 の画角内に 1035/1080 の比率で実際の映像が表示されるため、縦上部がやや潰れ下方向にずれて表示されます。
「シフト V」(20 ページ) で画面位置をセンターに合わせてください。

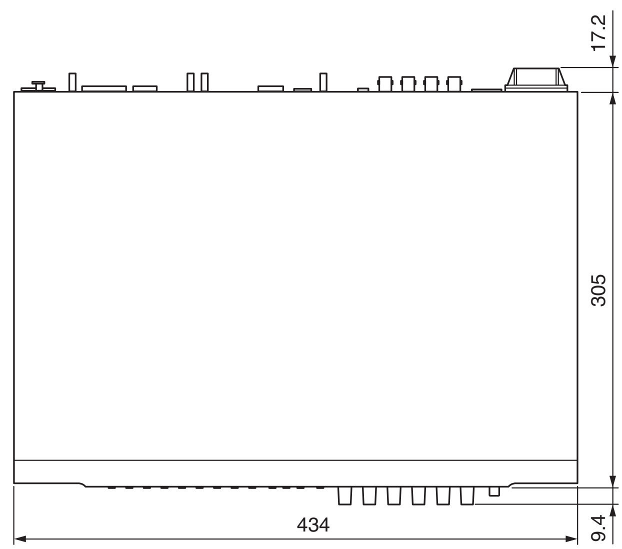
*3 信号方式 720/50P は、本機のシリアル番号 No. 2000805 以降のものに対応しています。

寸法図

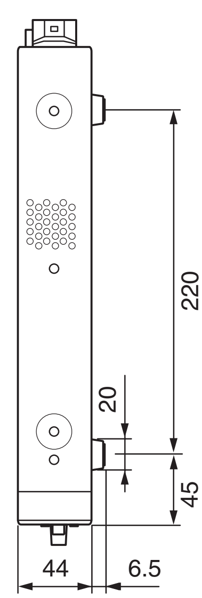
正面



上面



側面



単位：mm

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/